



8/22

子どもたちの笑顔がいっぱいでした

夏を楽しむ「縁日朝市」を開催しました！

観光交流センターにて「縁日朝市」を開催しました。

会場には、かき氷や射的など夏を感じられる縁日屋台が並び、子どもたちの楽しそうな笑い声が響き渡りました。また国際交流員によるタピオカミルクティーの振る舞いもあり、和やかな異文化交流のひと時となりました。

イベントの後半には、おはなし会も開催され、夏にちなんだ手遊びや



▲ 中学生ボランティアが元気な声で会場を盛り上げてくれました！



▲ みんなで楽しく手遊び！

絵本の読み聞かせを楽しみました。子どもたちは一緒に手を動かしたり、お話にじっと耳を傾けたりと、会場は終始にぎやかな雰囲気にも包まれました。

参加した方からは「子どもたちが夢中になれるお店があって楽しかった」といったうれしい感想も寄せられ、世代を問わず、みんなで夏の思い出を満喫する一日となりました。

9/18

いつまでもお元気こー！

100歳おめでとうございます！

9月18日（金）に今年度満100歳になられる方の長寿を祝い、町より祝品をお贈りしました。

また、これに併せて、内閣総理大臣より祝状及び記念品が贈られました。

今年度満100歳になられる方

丸勢 静香さん（小向）

亀澤 サン子さん（小向）

林 一二三さん（小向）

竹中 和さん（倉ノ谷）

（生年月日順）

4名の方に加え、町内で100歳以上の方は9名おられます。皆さまも健康に気を付け、いつまでもいきいきと元気にお過ごしください。



丸勢 静香さん



竹中 和さん



林 一二三さん



亀澤 サン子さん



このコーナーでは、まちのみなさんからの情報をご紹介します。



／ 隠岐ベースボールクラブからの情報 ／

隠岐から全国へ。島の声援を力に健闘！



8月10日から14日にかけて、全日本少年軟式野球大会が横浜スタジアム（神奈川県）で開催され、隠岐ベースボールクラブが中国地区代表として出場しました。開会式では、全国から集まった強豪チームとともに堂々と行進。離島・隠岐から中国地区代表の座を勝ち取った誇りを胸に、全国の舞台に立ちました。

1回戦は、九州地区代表の宮崎梅田学園ベースボールクラブ（宮崎県）と対戦。同チームは春の全国大会でベスト4に入った強豪で、初回に本塁打を浴びるなど、序盤からリードを許す苦しい展開となりました。それでも、最後まで諦めない粘り強さを見せ、中盤には2点を返しましたが、2対7で惜しくも初戦敗退となりました。

4月に始まった隠岐予選を皮切りに、松江地区予選、島根県予選、中国地区予選と4つの予選を勝ち抜き、全国大会の舞台に立った選手たち。この経験は、選手たちにとってかけがえのないものとなり、大きな自信につながりました。

全国大会への出場に際し、西ノ島町の皆さまからたくさんの温かいご声援とご支援をいただき、皆さまの応援が大きな力となりました。本当にありがとうございました。



／ 西ノ島チーヤッサーからの情報 ／

「離島でも、どんなことだってできる！」 離島甲子園に挑戦

8月17日から21日にかけて、国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会が隠岐の島町で開催され、西ノ島中学校の生徒で結成された「西ノ島チーヤッサー」が出場しました。この大会は、毎年全国の離島を会場に開催され、全国各地の離島から中学生が集まることから「離島甲子園」と呼ばれています。

西ノ島チーヤッサーは、隠岐ベースボールクラブに所属する1～3年生8名と、西ノ島中学校バスケットボール部を引退した3年生3名、計11名で結成されたチームです。

1回戦では、長崎新上五島ファイブスターズ（長崎県）と対戦。1対2と惜しくも初戦敗退となりました。その後の交流戦では奄美市選抜（鹿児島県）と対戦し、1対3で敗れましたが、大会直前に結成したチームとは思えないほど息の合ったプレーを見せてくれました。

この離島甲子園で得られたものは、野球の経験だけではありません。同じ離島で暮らす中学生たちと語り合い、互いを認め合いながら交流を深めたことも、選手たちにとって大きな財産となりました。全国の仲間との出会いを通して、「離島でも、どんなことだってできる！」という自信と、これからの挑戦への思いを胸に刻むことができました。

大会への参加にあたり、ご協力いただいた皆さま、そして温かいご声援を送ってくださった皆さま、本当にありがとうございました。

